

あっぱれ 優拍手に

中学生

■郡市ソフトテニス大会

- 2位 1年生の部 佐藤隼右・相馬康希ペア
3位 木内聖也・関鷹皇ペア **県大会出場**
〃 1年生の部 萩原悠太・小川昊聖ペア

■郡市新人陸上大会

- 優勝 1年男子 800m 有田隆祥
〃 共通女子砲丸投 山倉和華
2位 共通男子 800m 浅野唯人 **県大会出場**
3位 共通男子 1500m 山倉良太
〃 共通男子砲丸投 並木晶寛

■青少年健全育成剣道大会

- 優勝 女子剣道部
〃 女子個人 伊藤仁美

■郡市青少年読書感想文コンクール

- 優良 野平優芽、小島暖生、小川晃誠

■香取科学工夫作品展

- 金賞 前林正登、中谷愛純、山倉和華、渡辺竜ノ介、飯田紳士朗、卯田夏蓮、桑田美佳、並木柚凜
銀賞 鈴木愛理紗、川音美七海、菅澤尚良、飯田柚月、齋藤彩葉、五木田華音、木村めぐみ、齋藤佳乃、木内唯華、伊藤優杏

■郡市英語発表会

- 2位 3年スピーチの部 香取彩葉
3位 3年暗唱の部 齋木彩音

町職員・人事異動

○10月1日付けで、こども園園長が代わりました

園長 寺田 敏明

○新人職員紹介

10月から多古町役場で働くことになった新規採用職員を紹介します。



- ①所属
- ②住所
- ③趣味
- ④抱負

田村 千恵子

- ①保健福祉課健康づくり係(保健師)
②千葉市 ③ゴルフ ④一日でも早く仕事を覚えて、多古町の皆さんの健康を守るよう頑張ります。

すてきな絵を紹介します

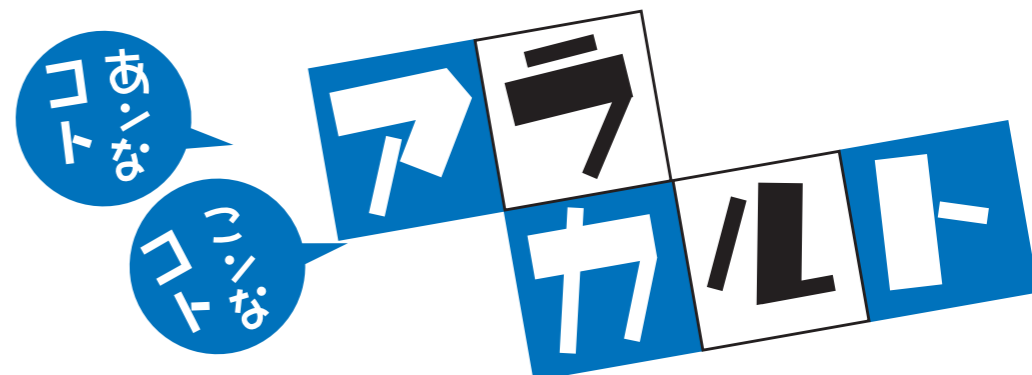
保健福祉センターに、社会福祉法人榎の実会 第2ひかり学園の志村新一さんの絵が飾られています。この絵は講師の指導の下、砂を混ぜた絵の具を使用し、図鑑の象を見ながら1年ほどかけて描き上げたそうです。保健福祉センターに足を運んだときには、ぜひご覧になってみてください。また、職員の方は「長年指導してくれた方が転出し、後任者がいなくて困っています。教えていただける方がいれば、ぜひご連絡ください」と切実に話していました。



町長日誌 (9月1日～30日)

2日	おろち10周年記念コンサート	
3日	朝礼 横芝光町長との意見交換	
4～14日	議会9月定例会	
5日	航空局長、空港周辺市町長懇談会(成田市)	
8日	全国連携魅力発信イベント(東京都)	
10日	空港対策特別委員会協議会	
11日	文教産業建設常任委員会 総務厚生常任委員会	
12日	決算審査特別委員会	
14日	北総東部土地改良区臨時総代会(香取市)	
16日	第一・中村・常磐小学校運動会 十余三区敬老会	
18日	課長会議	
19日	二階俊博自民党幹事長、林幹雄衆議院議員との懇談(東京都) 高橋、滝川両副知事との懇談(千葉市)	
20日	防災訓練「災害対策本部運営訓練」 教育委員任命書交付 慶弔規程に係る弔問	
21日	成田国際空港振興協会セミナー(成田市)	
27～28日	全国「道の駅」連絡会総会および「道の駅」シンポジウム(新潟県)	
29日	慶弔規程に係る会葬	
30日	台風24号対応	

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画空港政策課広報係
☎76-5409

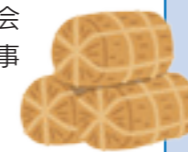


多古米祭り ~2018 TAKOMAI Festival~

第1弾「道の駅多古創業祭」

道の駅多古あじさい館は、9月26日に創業17周年を迎えました。この日に合わせて9月22日から30日まで創業祭が開催され、道の駅出品者によるおもてなし催事や新米のすくいどりなど、収穫時期ならではのさまざまなイベントが行われました。その中でも、お釜で炊いた新米コシヒカリの試食会には行列ができ、多くの来場者は多古米を堪能していました。

- 22日・23日 ●ガラボン抽選会
- 24日・29日 ●おもてなし催事
- 24日 ●炊き立て新米試食会
- 26日 ●新米すくいどり



新米を試食する子どもたち

第2弾「第7回多古米グランプリ」の結果は、広報たこ12月号でお知らせする予定です。

空の仕事を知る

9月26日、多古中全校生徒が夢について考える「道セミナー」が行われました。今年は、航空業界講話事業と題し前任航空管制官の北村博愛さんとJAL先任客室乗務員の岩見麻里さんから仕事の内容や空の安全と乗客の生命を守る重要性が語られました。また、他にも空港を支える仕事はたくさんあり、どの仕事も大切なものであると説明がありました。

生徒会長の小川晃誠さん(3年)は「大きな責任を持つ大変な仕事に感じました。自分も将来は責任と誇りの持てる仕事に就きたい」と話してくれました。



北村さん



岩見さん

さつまいもの季節になりました♪

9月29日に秋の恒例行事、NPO法人 都市と農村交流協会による、さつまいも掘り体験が島地区で開催され、町内外から150名を超える参加がありました。会長の小川さんは「品種はベニアズマです。連日の猛暑で一株に付いている数が少ないかもしれませんが、楽しんでいってください」と話します。

雨が心配で、掘り始めたころからポツポツ降ってききましたが、参加者たちは夢中で掘り進めていました。袋いっぱいさつまいもを笑顔で持ち帰る姿が印象的でした。

